

# IRIS(S-1+カンプト)+アバスチン療法

| IRIS+アバスチン療法の投与スケジュール |  |     | 4週間  |
|-----------------------|--|-----|------|
|                       | 1日目  | 8日目 | 15日目 |
| アバスチン(注射)             | ●  |     | ●    |
| カンプト (注射)             | ●  |     | ●    |
| S-1(内服)               | 1日2回 40mg/m <sup>2</sup> /回<br>2投2休<br>(14日間服用、14日間休薬) |     |      |

4週間ごとに繰り返します。

制吐対策（中等度催吐性リスク）

1日目 カイトリル注、デカドロン注

※中等度催吐性リスクのため、オプションで主治医の判断によっては、イメンドカプセルもしくはプロイメンド注やデカドロン錠が追加される場合もあります。

※S-1の用量について

| 体表面積                                       | 初回基準量(テガフル相当量) |
|--|----------------|
| 1.25m <sup>2</sup> 未満                      | 40mg/回         |
| 1.25m <sup>2</sup> 以上～1.5m <sup>2</sup> 未満 | 50mg/回         |
| 1.5m <sup>2</sup> 以上                       | 60mg/回         |

なお、患者の状態により適宜増減する。増減量の段階を 40mg、50mg、60mg、75mg/回とする。増量は本剤の投与によると判断される臨床検査値異常(血液検査、肝・腎機能検査)及び消化器症状が発現せず、安全性に問題がなく、増量できると判断される場合に初回基準量から一段階までとし、75mg/回を限度とする。